

### (3) 智頭急行株式会社経営状況報告書

#### 一 法人の概要

- 1 名 称 智頭急行株式会社
- 2 目 的 鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに付帯又は関連する事業を営むことを目的とする。
- 3 設立登記年月日 昭和61年5月31日
- 4 資 本 金 450,000,000円(9,000株)
- 5 株 主
- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 鳥 取 県 | 152,500,000円(3,050株) |
| 兵 庫 県 | 60,000,000円(1,200株)  |
| 鳥 取 市 | 50,550,000円(1,011株)  |
| 岡 山 県 | 36,450,000円( 729株)   |
| 各市町村  | 89,300,000円(1,786株)  |
| 民間企業  | 58,500,000円(1,170株)  |
| 各 団 体 | 2,700,000円( 54株)     |
- 6 役 員
- 取 締 役 14人 監 査 役 2人
- 取 締 役 会 長 平 井 伸 治 (鳥取県知事)
- 取 締 役 副 会 長 吉 本 知 之 (兵庫県副知事)
- 取 締 役 副 会 長 木 幡 浩 (岡山県副知事)
- 代 表 取 締 役 社 長 岡 村 俊 作
- 代 表 取 締 役 常 務 玉 井 和 則
- 取 締 役 深 澤 義 彦 (鳥取市長)
- ” 吉 田 英 人 (八頭町長)
- ” 寺 谷 誠 一 郎 (智頭町長)
- ” 青 木 秀 樹 (西粟倉村長)
- ” 荻 原 誠 司 (美作市長)
- ” 庵 途 典 章 (佐用町長)
- ” 遠 山 寛 (上郡町長)
- ” 小 田 光 則 (株式会社山陰合同銀行専務執行  
役員)

取締役 上杉雅彦（神姫バス株式会社代表取締役会長）

監査役 石田耕太郎（倉吉市長）

〃 和田長平（播州信用金庫理事長）

7 従業員 77人

8 事務所 本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭2052番地1

運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭2052番地2

大原事業所 岡山県美作市古町1550番地2

## 二 平成25年度事業実施状況

### 1 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最重要課題として全社員が一丸となって取り組んだが、夜間作業時に保守用車の逸走という、あってはならない事象が発生し、社員一同安全を再確認した1年となった。

特急列車の利用状況は、鳥取自動車道の全線開通による影響や昨年度実施された山陰デスティネーションキャンペーンの反動により、前期を下回る結果となったが、出雲大社大遷宮の効果や関西からの企画切符「かにカニ日帰りエクスプレス」が前年以上を確保したことなどにより、当初の想定ほどは下がらなかった。

#### (1) 列車利用状況

(単位：人、%)

区分	当期	前期	増減数	前期比	主な要因
スーパーはくと	601,816	622,606	-20,790	96.7	昨年の山陰DC等による反動減 鳥取自動車道の全線開通
スーパーいなば	241,417	238,991	2,426	101.0	
特急列車 計	843,233	861,597	-18,364	97.9	
普通列車	211,739	203,324	8,415	104.1	

#### (2) 収支状況

##### ①主な収入

(単位：千円、%)

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因
旅客運輸収入	1,312,696	1,311,936	760	100.1	
運輸雑収入	1,487,079	1,443,525	43,554	103.0	車両使用料の増
営業収益 計	2,799,775	2,755,461	44,314	101.6	

##### ②主な費用

(単位：千円、%)

区分	当期	前期	増減額	前期比	主な要因
修繕費	797,751	837,489	-39,738	95.3	車両検査両数の減
動力費	401,443	336,366	65,077	119.3	軽油単価の上昇
減価償却費	326,118	378,504	-52,386	86.2	
営業費用 計	2,516,576	2,554,142	-37,566	98.5	

#### (3) ダイヤ改正の実施

平成26年春のダイヤ改正を3月15日に実施し、「恋山形駅」に気軽にお越しいただけるように、他の列車に影響のない形で一部普通列車を「恋山形駅」に5分程度の停車時間をとった。

#### (4) 安全対策の実施状況

安全対策については、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする職場風土の構築に向けて、関係法令等の勉強会実施などによる法令等の遵守の徹底や、トンネル火災など様々な想定に対する訓練の取組を展開するとともに、安全推進委員会を毎月開催し、鉄道事故防止に関する事項について徹底した議論を行った。また、安全に係わる内部監査も実施し、PDCAサイクルを管理、徹底するなど、引き続き安全管理体制の更なる充実・強化を図った。

#### (5) 企画きっぷの発売状況

「東京往復割引きっぷ」、「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」及び「岡山往復割引きっぷ」を積極的に販売するとともに、京阪神、岡山、広島方面からの誘客を図るため「かにカニ日帰りエクスプレス」を御利用のお客様に、引き続き干物セットをプレゼントする企画を実施するなど、利用者の増加を図った。

普通列車については、「一日乗り放題きっぷ」、シニア向けの「楽ラクきっぷ」及び恋山形関連商品となる記念切符「恋福きっぷ」を発売し、駅窓口でのロコミPRを中心に、普通列車の利用者拡大に努めた。

#### (6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

特急列車の利用促進に向けて、カニなどの「山陰の冬の魅力」について、京阪神地区を中心にテレビCM等の宣伝を行うとともに、姫路駅・天王寺駅でのイベントを実施し、多くのお客様に「かに」と「スーパーはくと」の魅力をPRしたと同時に、京阪神や鳥取等での誘客や送客活動に取り組んだ。

普通列車については、引き続き利用促進や地域の活性化に資するよう沿線自治体主催のイベントに積極的に参加するとともに、会社独自のイベント「ちずきゅうこうスタンプラリー」、「スーパーウォーキング（あわくら温泉～智頭駅間）」などを開催した。

また、恋と付く駅名が全国に4つしかない「恋駅プロジェクト」の一貫として、恋山形駅をピンクに塗装しリニューアルした。全国的にも珍しい取組として話題を集め、数々のメディアに取り上げていただいた。これに関連して地域団体とのコラボの婚活列車や、ブライダル列車、関西のお菓子メーカーとタイアップしたバレンタイン列車の臨時運行など、より一層のPRに努めた。

そして、美作国建国1300年を記念したラッピング列車の運行では、美作市と合同でPRを行うと同時に、各種イベント等にこの列車を運用し多くのお客様に披露することができた。また、毎年恒例の「風鈴列車」、「七夕列車」、「クリスマス列車」及び「杉玉列車」

も運行した。

## 2 設備投資及び資金調達の様況

主な設備投資とその金額は次のとおりであり、全て自己資金で対応した。

・液体変速機（特急車両用12台）	62,130千円
・車両用エンジン（特急車両用12台）	56,640千円
・自動列車停止装置更新（久崎駅）	40,566千円
・デジタル無線機（特急車両用3台）	13,665千円
・PLC盤取替（特急車両用6台）	11,404千円

**智頭急行株式会社**  
**損益計算書**

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 鉄道事業営業利益				
1 営業収益	2,799,774,591	2,755,461,080	44,313,511	
(1) 旅客運輸収入	1,312,695,492	1,311,936,403	759,089	
(2) 運輸雑収入	1,487,079,099	1,443,524,677	43,554,422	
2 営業費用	2,516,575,737	2,554,141,644	△ 37,565,907	
(1) 運送費	1,978,954,948	1,936,153,255	42,801,693	
(2) 案内宣伝費	29,331,864	36,509,408	△ 7,177,544	
(3) 厚生福利施設費	1,485,028	1,336,816	148,212	
(4) 一般管理費	111,521,956	129,870,018	△ 18,348,062	
(5) 諸税	69,164,418	71,768,636	△ 2,604,218	
(6) 減価償却費	326,117,523	378,503,511	△ 52,385,988	
営業損益	283,198,854	201,319,436	81,879,418	
II 営業外収益	15,946,035	11,656,976	4,289,059	
1 受取利息	9,520,285	9,405,571	114,714	
2 雑収入	3,472,941	2,251,405	1,221,536	
3 業務受託料	2,952,809	0	2,952,809	
III 営業外費用	10,640,933	12,221,063	△ 1,580,130	
1 支払利息	5,175,978	8,544,043	△ 3,368,065	
2 繰延資産償却	1,838,795	2,402,011	△ 563,216	
3 雑支出	673,351	1,275,009	△ 601,658	
4 業務受託経費	2,952,809	0	2,952,809	
経常損益	288,503,956	200,755,349	87,748,607	
IV 特別利益	325,008,852	78,067,892	246,940,960	
V 特別損失	275,775,309	94,480,363	181,294,946	
税引前当期利益	337,737,499	184,342,878	153,394,621	
法人税等	131,365,300	69,724,200	61,641,100	
当期純利益	206,372,199	114,618,678	91,753,521	

**智頭急行株式会社**  
**貸借対照表**

(平成26年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	1,760,346,924	1,799,642,597	△ 39,295,673
未収運賃	418,003,328	397,680,794	20,322,534
未収収益	2,952,632	3,916,150	△ 963,518
有価証券	501,067,025	501,067,025	0
貯蔵品	285,665,816	281,892,299	3,773,517
前払費用	13,342,187	12,723,001	619,186
未収金	403,076,545	78,071,892	325,004,653
未収還付消費税	3,915,929	0	3,915,929
流動資産合計	3,388,370,386	3,074,993,758	313,376,628
2 固定資産			
(1) 鉄道事業固定資産	1,821,118,496	1,957,640,267	△ 136,521,771
有形固定資産	1,807,598,907	1,946,849,211	△ 139,250,304
無形固定資産	13,519,589	10,791,056	2,728,533
(2) 投資その他の資産	66,540,918	77,949,235	△ 11,408,317
差入保証金	1,910,000	2,084,000	△ 174,000
長期未収金	64,527,158	75,762,875	△ 11,235,717
その他	103,760	102,360	1,400
固定資産合計	1,887,659,414	2,035,589,502	△ 147,930,088
3 繰延資産			
開発費	8,552,215	8,232,202	320,013
繰延資産合計	8,552,215	8,232,202	320,013
資産合計	5,284,582,015	5,118,815,462	165,766,553

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	208,020,145	174,943,228	33,076,917
未払費用	6,775,966	8,786,854	△ 2,010,888
未払法人税等	100,840,200	21,817,100	79,023,100
未払消費税等	0	13,446,256	△ 13,446,256
前受運賃	1,387,777	833,140	554,637
預り金	2,065,774	5,675,095	△ 3,609,321
前受収益	18,035,520	17,557,445	478,075
流動負債合計	337,125,382	243,059,118	94,066,264
2 固定負債			
長期借入金	0	60,000,000	△ 60,000,000
長期未払金	428,843,588	503,515,498	△ 74,671,910
固定負債合計	428,843,588	563,515,498	△ 134,671,910
負債合計	765,968,970	806,574,616	△ 40,605,646
III 純資産の部			
1 株主資本			
(1) 資本金	450,000,000	450,000,000	0
(2) 利益剰余金	4,068,613,045	3,862,240,846	206,372,199
利益準備金	2,700,000	2,700,000	0
その他の利益剰余金	4,065,913,045	3,859,540,846	206,372,199
別途積立金	2,200,000,000	2,200,000,000	0
固定資産圧縮積立金	1,650,000,000	1,540,000,000	110,000,000
繰越利益剰余金	215,913,045	119,540,846	96,372,199
純資産合計	4,518,613,045	4,312,240,846	206,372,199
負債及び純資産合計	5,284,582,015	5,118,815,462	165,766,553



### 三 平成26年度事業計画

安全を最優先とする意識の定着を図るため、鉄道事業の最大の使命は「輸送の安全確保」であることを再認識し、引き続き経営トップ及び全管理職社員自らが現場に出向き、現場との一体感を醸成するなど、より強固な安全管理体制を築いていく。また、社員全員で、今一度基本に立ち返り、法令及び規程の遵守並びに執務の厳正を更に徹底していく。

鉄道施設の経年老朽化については、線路巡回等の強化や構造物検査によって修繕等の措置が必要なものについては安全に支障が生じないよう万全な措置を講ずる。

また、安全の確保は人材育成であることを踏まえ、引き続き世代交代に備えての個々人の知識、技術、技能の向上及び継承の推進に努める。

今年は開業20周年という節目の年を迎えることとなり、アニバーサリーイヤーと位置づけ、お客さまに感謝するイベントの開催等で多くの方に智頭線を知って、乗ってもらえる取組を進める。スーパーはくとについては発着地である鳥取県中部の三朝温泉が開湯850年という、同じく記念すべき年であることから、これを更なるPRの機会と捉え、関係団体と連携しながら積極的に京阪神にPRし、誘客につなげる。また、現在放映中のNHK大河ドラマ『軍師官兵衛』は、スーパーはくと沿線にあたる姫路市等も舞台になっていることなども含め、JRと連携して情報発信等を積極的に行い送客につなげる。

鳥取自動車道全線開通による影響を最小限に食い止めるため、JR等と一体となった旅行商品の開発や情報発信を引き続き積極的に行うなど、1人でも多くの観光客を誘致する取組を行うほか、沿線自治体と連携した普通列車の利用促進のための取組を一層、進める。

その他、経年に伴う土木構造物の修繕などを計画的に行うとともに、原油価格等の上昇などの費用増加等に対応するため、引き続き事業の効率化や経費節減等に努める。

#### 〔重点実施項目〕

- (1) 安全意識を更に高揚させるため、個人面談、アンケート等を通じて安全意識の向上を図るとともに、ヒヤリハット、気がかり事象の啓蒙を行い、その分析や対策を徹底し事故の芽を摘み取る。

社員の知識、技能の向上及び継承の推進を行うため、個人レベルの把握に努め、それに沿った教育計画を策定するとともに、教育機関を積極的に利用し、基礎技術の習得及び技術のレベルアップに努める。

規程の遵守と整備を徹底させるため、遵守すべき規程の定期的な点検を行うと同時に、見直しが必要なものは計画的に見直しを行う。

- (2) 列車の安全運行確保のための計画的な設備投資、更新及び修繕を実施する。今年度は施

設については、高架橋やトンネルの修繕、レール更換などの修繕やATS-P装置、複合多重化装置などを順次、更新していく。車両については、エンジン、液体変速機、PLC盤等の更新やお客さまから多くのニーズが寄せられている授乳室やオムツ交換などができる多目的室や大型荷物置場の整備、トイレの改良やコンセントの増設などメーカーと設計協議を進め、可能なものから順次、実施していく。

- (3) 鉄道輸送を取り巻く厳しい経営環境の変化に対応するため、お客さまのニーズや動向に合わせた普通列車の運行ダイヤのあり方について検討を行う。
- (4) 今年は開業20周年であり、お客さま感謝祭の開催や記念きっぷ等でお客さまに感謝するとともに20周年を一緒に祝い、また、沿線地域と連携してイベント等で多くの方に智頭線を知って・乗ってもらえる取組を進める。
- (5) 沿線の観光素材等を関係団体と一緒にになって積極的に情報発信を行うと同時に、JR等と一緒にになって関西方面の観光資源の魅力を最大限発揮する取組を行う。
- (6) 鳥取自動車道全線開通による影響に対し、JR等と共同で企画切符などの商品開発や効果的な情報発信、及び誘客送客活動を強化する。
- (7) 普通列車の利用促進を行うため、智頭線独自の切符の開発や沿線自治体や関係団体との連携によるイベントの開催やイベント列車の運行によって、智頭線を知って乗ってもらう取組を強化するとともに域外からの誘客に取り組む。

また、恋山形駅を活用した「恋駅プロジェクト」などの事業を実施し、智頭線の新たな魅力を開発し、誘客につなげていく。

(3) 智頭急行株式会社

株主資本等変動計算書

個別注記表

# 株主資本等変動計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本							株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計					
	資本金	資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	別途積立金	その他利益剰余金 固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金				
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,200,000,000	1,540,000,000	119,540,846	0	4,312,240,846	0	4,312,240,846
当期変動額											
剰余金の配当									0		0
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て									0		0
積立金の積立						110,000,000	-110,000,000		0		0
役員賞与の支給									0		0
過年度税効果調整額									0		0
当期純利益							206,372,199		206,372,199		206,372,199
当期変動額合計	0	0	0	0	0	110,000,000	96,372,199	0	206,372,199	0	206,372,199
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,200,000,000	1,650,000,000	215,913,045	0	4,518,613,045	0	4,518,613,045

## 個 別 注 記 表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ①有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法

##### ②棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

#### (2) 固定資産、繰延資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物については定額法を採用しています。

##### ②無形固定資産

定額法を採用しています。

##### ③繰延資産

法人税法の規定による定額法を採用しています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

### 2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額	10,113,108,145円
----------------	-----------------

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数	9,000株
--------------------------	--------

### 4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額	502,068円
----------------	----------

(2) 1株当たりの当期純利益	22,930円
-----------------	---------